

夏季全体研修会を開催しました(7/31)

今年度は城北小を会場に、122人の教職員で研修会を行いました。以下に、内容等報告します。

「個別最適な学びと協働的な学び」についての情報交換

～系統表を拠り所として～

昨年度、安東中グループでは、児童生徒が授業において「9年間の、いつ、どんな力を身につけていくのか」を具体的に示した「系統表」を作成しました。今年度は、この「系統表」を授業づくりの拠り所として活用しています。夏季全体研修会においても、各自の持ち寄った授業実践について、「その授業でつけるべき力は何か」「9年間の学びの中のどの部分なのか」等を「系統表」で確認することで成果や課題をはっきりさせることができました。「系統表」の活用が、私たち教職員の「9年間で安東中グループのめざす児童生徒を育てていく」という意識を高めていることを感じます。今後もグループ内の職員で連携・協働しながら授業改善に努めていきます。



<生活づくり部> ～「メディアコントロールデイ」について～

【現状(4校の共通点)】

- ・メディアコントロールデイの「達成率自体は高い」が、イベント的な取り組みに留まっている場合が多い。
- ・取り組みがマンネリ化し、目標設定が甘くなりがち(その日だけ頑張る)。

【今後の取り組みのアイデア・方向性】

- 保護者へのさらなる周知・家庭との連携強化…お便り等で積極的にフィードバック
- 子供たちの実態に合った活動・指導の工夫…振り返り、目標設定の工夫や子供たちの意識を高める取り組み

<仲間づくり部>「共生」～多様性を認め、仲間と共によりよい集団を築く～に向けた各校の取組について

○各校の特別活動主任より取組の紹介(スライドで紹介)

- どの学校も児童・生徒と教員間で活動の目的を共有し、計画・活動を行っていた。
- また、児童・生徒が主体となり、様々なアイデアを出し合って充実した活動が行われていた。

○小グループに分かれて4校の活動の取組紹介、情報交換

- 4校ともに、児童会・生徒会の活動だけでなく、日々の学級活動や縦割り活動を大切に行っている。
- 今後は、児童・生徒同士がお互いの活動を紹介し合い、交流をしていきたい。

<学びづくり部> 各校研修の取組について／4校授業公開・参観交流の推進について

4校の研修主任から各校の研修の取組について紹介 → 各校が特色ある研修を推進している

- ・安東中「『わくわくする』楽しい授業～みんなで「できる」「わかる」を実感する手立ての工夫～」
- ・城北小「『自ら学び進める子』を目指して～自らの目標に向かい、自己選択・自己調整をする力を育む授業～」
- ・竜南小「子どもたちが自分事としてかかわり合い深め合う授業」
- ・安東小「ひとりひとりが生きる授業～自己選択・自己決定につながる協働的な学び～」

各校の研修・授業を充実させること、他校の授業をお互いに参観することで、安東中 G 全体の授業力向上を。

今年度は、安東中グループ小中一貫教育運営委員会の地域の委員の皆さまにも話し合いの様子をご覧頂きました。

「話し合いをするための資料が事前に準備されていて、具体物があるため聞いているだけでもわかりやすかった。」「授業の中で、先生方が児童生徒の学びを捉えている様子がわかって興味深かった」などのご感想を頂きました。運営委員の皆さまには、暑い中足をお運びくださりありがとうございました。

